

8 共同利用・協同観測・研究交流

8.1 ドームレス太陽望遠鏡 (DST)

8.1.1 共同利用

公開期間: 4月7日–8月1日、9月8日–12月12日 (約7ヶ月)

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計47日間 (約8週)

利用者 (実施順):

塩田和生、大越治 (日食情報センター)、遠山御幸 (横浜モバイルプラネタリウム他)、他
計4日間

「市販 H α 太陽望遠鏡の分光特性の測定と写真特性の相関性検討」

三浦則明、大石歩、他 (北見工業大学) 計27日間

「常設補償光学装置の設置」

「multi-conjugate 補償光学実験」

安藤繁 (東京大学)、桜井隆、花岡庸一郎 (国立天文台) 計5日間

「時間相関イメージセンサを用いたシーイングによる像劣化の回復及び
高精度偏光観測の試験」

花岡庸一郎 (国立天文台) 計5日間

「H α など彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

野澤恵、澤田真平、宮脇駿 (茨城大) 計6日間

「野辺山電波ヘリオグラフ及び飛騨 DST を用いた彩層・コロナ磁場診断」

「黒点領域の光球・彩層磁場の時間発展」

「スペックルマスキング法を用いた高空間分解能撮像観測」

8.1.2 他大学向け観測教育実習

(のべ6日)

4月21日–4月25日

“茨城大学4回生 太陽分光観測実習”

8月26日

“「理学系学部生のための太陽研究最前線体験ツアー」参加者対象太陽観測実習”

8.1.3 国際・国内協同観測

(のべ20日)

8月11日–8月16日, 8月29日

“彩層形成線のプロファイル解析による彩層ジェットの3次元構造と時間変化”

with Fuxian Solar Observatory, China

11月7日–11月15日, 11月25日–11月28日

“Chromospheric dynamics in active region”

with HINODE and IRIS satellite (HOP0275)